



ルドルフとイッパイアッテナ



ボランティア団体 ルドルフ応援団

ボランティア団体

映画「ルドルフとイッパイアッテナ」

ひょんなことから、故郷の岐阜市から江戸川区北小岩へ来てしまった黒猫のルドルフ。そこで出会ったのが人間の言葉を理解するボス猫イッパイアッテナ。ルドルフは生きていくための作法や

生きる力、知恵などを教えられる。彼は果たして故郷へ戻れるのか、それとも…。

この物語は、いつも前向きに生きようとする猫たちの人間味あふれる出会いと別れを描いた、とても感動するハートフル「ねこ」ストーリーです。



© 2016 ルドルフとイッパイアッテナ制作委員会



KITA KOIWA

原作者の齊藤 洋先生（さいとう ひろし）

この話の舞台は、原作者、齊藤洋先生が育った江戸川区北小岩の、主に京成線北側の地域だという。また後に母と子のテレビ絵本内で放映されたアニメでは、ルドルフ達がよく行く商店街の名前が『ちよだ通り商店街』と出ていた。実際に北小岩と隣接する葛飾区



▲映画の舞台にもなった「千代田通り商店街」

鎌倉に『千代田通り商店街』という名前の商店街が存在する。原作の児童書は1987年に講談社から出版され、累計販売部数が100万部を超え、大ベストセラーとなりました。



講談社が発行する原作の児童書▲

「ルドルフ応援団」って、なあに？

齊藤洋先生と「ルドルフとイッパイアッテナ」を通じて、北小岩にある「中華料理 永楽」の店主・永嶋氏が、ルドルフのお話をみなさんに広め、



▲町のあちこちに石碑が設置してあります

これを利用した「町づくりをしよう」と賛同した仲間が徐々に集まりました。



▲応援団の誕生となった「中華料理 永楽」

安心して暮らせる町づくりを目指し、この物語とルドルフの住む町の良さをアピールしていくと同時に、この地域を元気にしていこうと志をもつ人が集まったボランティア団体が「ルドルフ応援団」です。



©2016 ルドルフとイッパイアッテナ制作委員会

ルドルフとイッパイアッテナ 原作者：齊藤 洋 先生より

ルドルフたちが見た風景や町、そこで暮らす人々…。そんな人情味あふれる町を実際に、ご自身の目で、確かめに、見に来てほしい！



あつ ぽ

公式ホームページ



www.rudolf.fan ルドルフ応援団

各SNSにも展開中！検索してみよう！

ルドルフ応援団

検索

カチッ!